



2014年 5月 25日(日)

赤穂新聞

'14.5.25

藤本議員や大木副会頭ら 県功労者表彰受賞

兵庫県功労者表彰の表彰式が23日、神戸市の県公館で行なわれ、赤穂市関係では自治功労に市会議員の藤本敏弘氏、教育功労に関西福祉大学前副学長の古瀬徳雄氏、産業振興功労に赤穂商工会議所副会頭の大木善夫氏が輝いた。

藤本氏は、平成9年の初当選以来、連続五期17年赤穂市議を務め、総務文教常任委員会委員長や議会活性化検討協議会委員長、監査委員などを歴任、20年に副議長、23年に議長を務め、赤穂市の自治に多大な功績を残した。

古瀬氏は、昭和62年から平成7年まで兵庫短期大学(現兵庫短期大学)助教授として主に音楽を担当。8年からは関西福祉大学設置準備室職員として、同大学の開設準備に尽力し、翌9年から同大学社会福祉学部社会福祉学科助教授、教授として音楽ほか演習科目を担当し、20年からは同大学大学院社会福祉学研究科で音楽療法研究特論を担当し、福祉と音楽の統合に努め、多大な功績を収めている。

大木氏は、大木コーポレーション代表取締役と

して大木グループを率いるかたわら、平成13年に赤穂商議所副会頭に就任。「赤穂しおばなまつり」

や「身近な怒りの川柳コンクール」等の実行委員長として辣腕をふるう一方、「赤穂・商売繁盛推進事業」や先進地商店街の仕掛け人らを講師に招いた交流勉強会「赤穂・商人塾」の開催など商工業の育成に多大な功績を残した。

複写はご遠慮ください。